CHANG子ども地球大学

-カンボジアで「埼玉県の授業」を開催-

10月30日（火）

－海外活動の再開－

感染者数の減少と水際対策の緩和によって、やっと海外活動が再開となりました。

10月30日、2年7か月ぶりのカンボジアに到着。空港を出ると子ども達が盛大にお迎えに来てくれていて、サプライズに感動しました。

空港に来てくれた孤児院の子ども達

私たちはカンボジアのアンドン村という場所で孤児院、幼稚園、学習塾を運営しています。この村はまだスラムが残っているような場所で、最貧国カンボジアの中でも更に貧しい人々が暮らしています。

久しぶりの訪問で、子ども達ともスタッフともたくさん話をしました。

－埼玉県を知ってもらう授業－

そして今回からやっと埼玉県の授業が始められます。今まで日本の文化を教えたことはありますが、埼玉県に絞っては始めて。自分自身も改めて埼玉県を調べ、カンボジアの子ども達が興味を持ってくれそうなスライドを作っていきました。

子ども向けのスライドで説明

当日は孤児院と村の子ども達50人程でステージはいっぱいです

私「パパ（私のこと）はどこから来てるか知ってるよね？」

子「チャポン！」

私「チャポンのどこ？」

子「知らない？」

私「東京は？」

子「聞いたことある」

私「パパは東京のとなりの埼玉県ってところに住んでます」

50人程の子どもでいっぱいのステージ

先ずは私の父方の田舎でもある秩父夜祭。カンボジアの子ども達はお神輿を見たことがありません。人々がハッピを着て家のようなものを元気に担いでる様子に「楽しそうだけど何やってるの？」と首をかしげてます。「神様

に感謝している儀式です。みんなが踊る伝統舞踊と近い意味です」と説明すると、信仰心の深い子ども達は納得していました。

私「埼玉県はサッカーも有名です。浦和レッズ知ってますか？」

子「フットボール！ ホンダ！」

カンボジア代表の指揮をとる本田圭佑選手はスターですし、香川選手も人気があります。

私「これ、うなぎ！美味しいですよ」

子「おー！ディープ！ディープ！」

カンボジアでも一部の人はうなぎを好んで食べているそうです。

サッカーもイオンも大好き

私「お買い物はイオンがあります」

子「また連れってってー」

プノンペンにもイオンがあって、みんな大好きな場所。高校生たちをたまに買い物に連れ行ってあげてますし、コロナ前の遠足はイオンのプールでした。

草加せんべい、うどん、東武動物公園、だるま・・そして盛り上がったのがアニメ。「クレヨンしんちゃんやらき☆すたも埼玉県が舞台です」と説明するとアニメ好きの女の子は「キャー」と大喜び。

そして私の会社がある蕨駅、住んでいる浦和駅周辺も動画で紹介。コルソと伊勢丹、高層マンションと商店街。駅も普通電車ないカンボジアでは見れない風景に子ども達は「へー」と興味津々な様子。今回の授業でより埼玉県に関心を持ってくれたなら何よりです。

オリジナルの埼玉シール

話しを聞いてくれた子ども達には手作りの埼玉シールをプレゼント。早速Tシャツに貼ったり、大切に持って帰ったり喜んでくれました。

最後に「埼玉県に行きたくなった？」と聞くと、「チョン タウ サイタマ！ チョン タウ サイタマ！（埼玉に行きたい！）」と大合唱でした。

ー埼玉県での就職を希望ー

数年前までこの子たちにとって日本に行くとか、埼玉県がどんなところかなど考えもしないことでした。しかし今、本気で埼玉県を知りたい子がたくさんいるのです。それは2年前にこの孤児院で育ったフンという男の子が努力の末に技能実習生として日本での就職を実現させたからです。私も定期的に彼に会いに行き、食事や旅行を楽しんでいます。

孤児院出身のフンと熱海を旅行

彼の日本就職は現地に大変な影響を与えました。高校生や既に高校を卒業してカンボジアで働いている子たちも「日本で働きたい！」と本気で言い出しているのです。そしてフンは試験に受かったのが静岡県の会社でしたが、他の子は「パパの近くがいい」と埼玉県での仕事を希望しているのです。

直ぐに埼玉県で働きたい二人

今月ちょうど高校を卒業するスレイニとスレイウィ。この二人も幼いころから孤児院で育ちました。フンや他の技能実習生の多くは高校卒業後に二年ほど現地の日本語学校へ行き、それから日本へ就職するのですが、この二人はその二年もがまんができません。

「早く日本に行きたいから少しだけ日本語勉強して行くよ。パパの近くの介護の仕事がいいな」

気は強いがとても優しい二人。介護職だったら実の家族のようにお年寄りの世話をしてくれるでしょう。これが実現したら、この村から次々に埼玉への就職希望者が増えることになります。

これからもより多くの子どもが埼玉県に関心を持ち、安心して旅行や仕事で来れるよう、継続して埼玉県の話しをしていきたいと考えております。